

第**63**期 報告書
2011年4月1日▶2012年3月31日

JASDAQ
証券コード:7472

先端技術で社会と産業の進化を支える



株主の皆様へ

最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、
ありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第63期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の
報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告するとともに、
ひとつごと挨拶申し上げます。



当期の概況

当事業年度(以下、「当期」という)の内外経済の状況を
みますと、米国経済は緩やかな回復基調を辿っており、欧州
経済も一部で懸念された債務問題が小康状態を取り戻すに
つれ、経済の悪化にも歯止めがかかってきております。また、
世界経済を牽引してきた中国、インドなどの新興国におきま
しても金融緩和の動きが続いており、世界経済全体は当期
後半より減速傾向から脱却する兆しが出てまいりました。

一方、わが国経済におきましては、昨年3月におきた東日
本大震災によるサプライチェーンの混乱や電力供給問題、昨
年秋におけるタイの大洪水の影響など、当期を通して国内経
済を後退させる要因が続きました。しかし、その後の官民に
よる復旧・復興活動やエコカー補助金制度など政策面の下
支え、米国経済の回復による輸出需要の復調などにより、国
内経済は緩やかな回復基調となつてまいりました。

このような経済状況の中で当社は、スマートフォン及び
タブレットPC等の関連メーカーや自動車・車載部品関連
メーカー等の省力化投資需要に向けて産業用ロボットを中心
としたFA機器、制御機器の販売拡大を進めてまいりました。

また、新しい得意先への開拓営業も積極的に展開しており
ます。管理面においては、コスト削減努力を継続するととも
に、ユーザーサービス向上と営業力強化のために社内外に
おける社員教育の実施などを積極的に進めてまいりました。

以上の結果、売上高は191億80百万円(前年同期比9.1
%増)、営業利益は10億77百万円(前年同期比41.2%増)、
経常利益は11億63百万円(前年同期比37.1%増)、当期純
利益は6億65百万円(前年同期比42.4%増)を計上するこ
ととなりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、業績連動
型の配当性向を基本に、安定的な配当の継続をめざしてお
ります。当期の期末配当金につきましては、1株あたり50
円を第63回定時株主総会においてご決議させていただきま
した。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、
ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月
代表取締役社長 三浦 直行

取扱商品実績

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、半導体メモリーや大型液晶製造装置の得意先における設備投資需要は低調でしたが、スマートフォン向けの小型液晶製造装置の得意先における設備投資は好調でありました。全体としての売上高は前期をやや下回る前年同期比2.2%減の73億78百万円となりました。

FA機器

工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、デジタル機器、半導体製造装置等の得意先における自動化のための設備投資が堅調に推移し、とりわけスマートフォン関連の得意先における産業用ロボット、ファイバーレーザー溶接機の需要が旺盛であり、産業用ロボットを中心にFA機器全般に需要が伸びたことにより、売上高は前年同期比20.6%増の92億19百万円となりました。なかでも、ディスペンサーや基板分割機等の新しい商品が売上に貢献してきております。

産業機器

生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、自動車需要の復活とともに自動車・車載部品の得意先向けに無人搬送車やネジ締め機等の需要が堅調に推移し、また家電関係の得意先向けに電動ドライバーの需要も好調であったため、売上高は前年同期比7.7%増の25億82百万円となりました。なかでも、新たに販売を開始した溶射処理（表面処理）なども売上に貢献してきております。

売上高

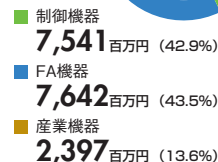
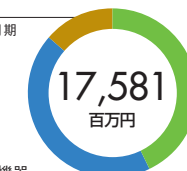
当期

平成24年3月期



前期

平成23年3月期



()内は構成比

ファイバーレーザー溶接装置 (ミヤチテクノス株式会社)

当レーザー溶接装置には、全機種「リアルタイムパワーフィードバック機能」を搭載し、安定した溶接と、高品質な溶接を実現しています。

※リアルタイムパワーフィードバック機能とは、レーザーダイオードへの投入エネルギーを変化させることにより、設定通りの波形を再現し、理想のレーザー出力波形を得ることができます。高品質溶接を実現するミヤチテクノス独自の技術です。



(提供：ミヤチテクノス株式会社)

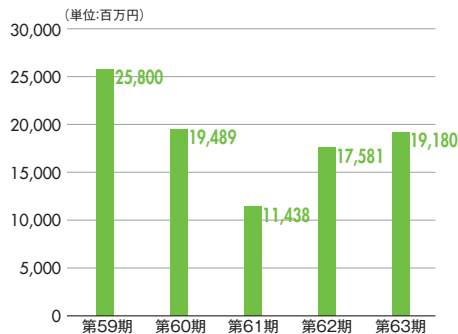
YAGレーザーとは異なるビーム特性により、高品質な微細溶接から高速シーム溶接までを実現。ML-6810Aでは切断加工も可能です。

財務ハイライト

業績の推移

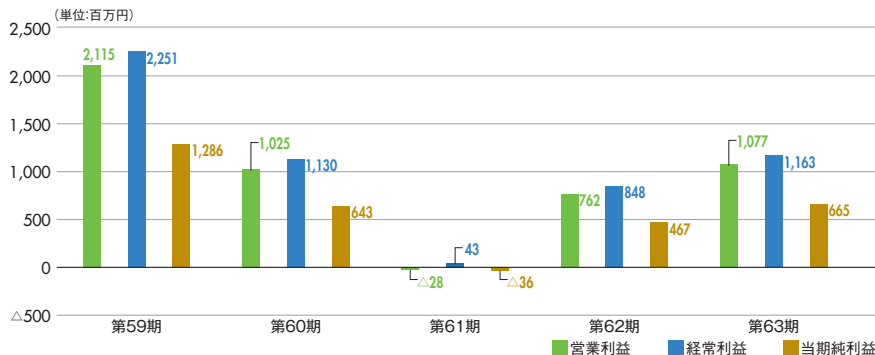
売上高 **191.80** 億円

売上高



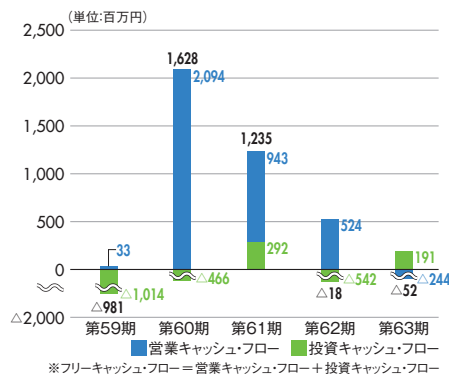
営業利益 **10.77** 億円
 経常利益 **11.63** 億円
 当期純利益 **6.65** 億円

営業利益/経常利益/当期純利益



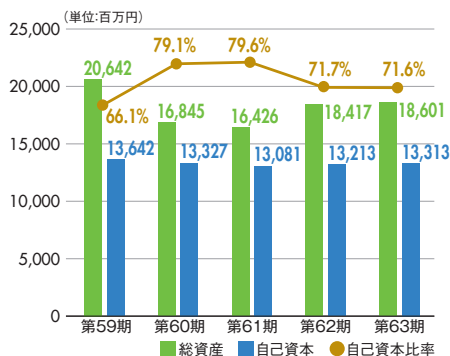
フリーキャッシュ・フロー*
 キャッシュ・フロー Δ **0.52** 億円

営業キャッシュ・フロー/投資キャッシュ・フロー/フリーキャッシュ・フロー



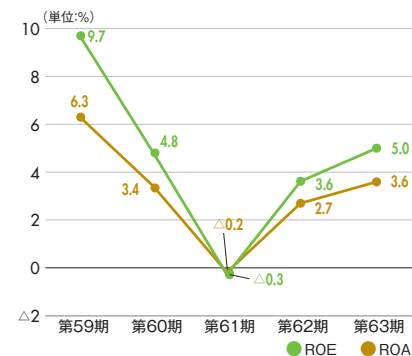
総資産
 資産 **186.01** 億円

総資産/自己資本/自己資本比率



ROE
 ROA
 利益率 **5.0%** **3.6%**

ROE/ROA



財 務 諸 表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,935,632	14,000,254
固定資産	4,665,938	4,416,937
有形固定資産	2,009,175	2,041,894
無形固定資産	12,740	14,259
投資その他の資産	2,644,022	2,360,783
資産合計	18,601,571	18,417,191

科 目	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	5,124,475	5,007,843
固定負債	163,432	195,518
負債合計	5,287,908	5,203,362
純資産の部		
株主資本	13,252,249	13,137,823
評価・換算差額等	61,413	76,006
その他有価証券評価差額金	61,413	76,006
純資産合計	13,313,663	13,213,829
負債及び純資産合計	18,601,571	18,417,191

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	19,180,633	17,581,545
売上原価	16,183,958	14,950,423
売上総利益	2,996,675	2,631,122
販売費及び一般管理費	1,919,552	1,868,167
営業利益	1,077,123	762,954
営業外収益	89,663	90,396
営業外費用	3,702	4,705
経常利益	1,163,083	848,645
特別損失	—	18,325
税引前当期純利益	1,163,083	830,319
法人税、住民税及び事業税	490,500	401,900
法人税等調整額	6,914	△38,965
当期純利益	665,668	467,384

会社情報

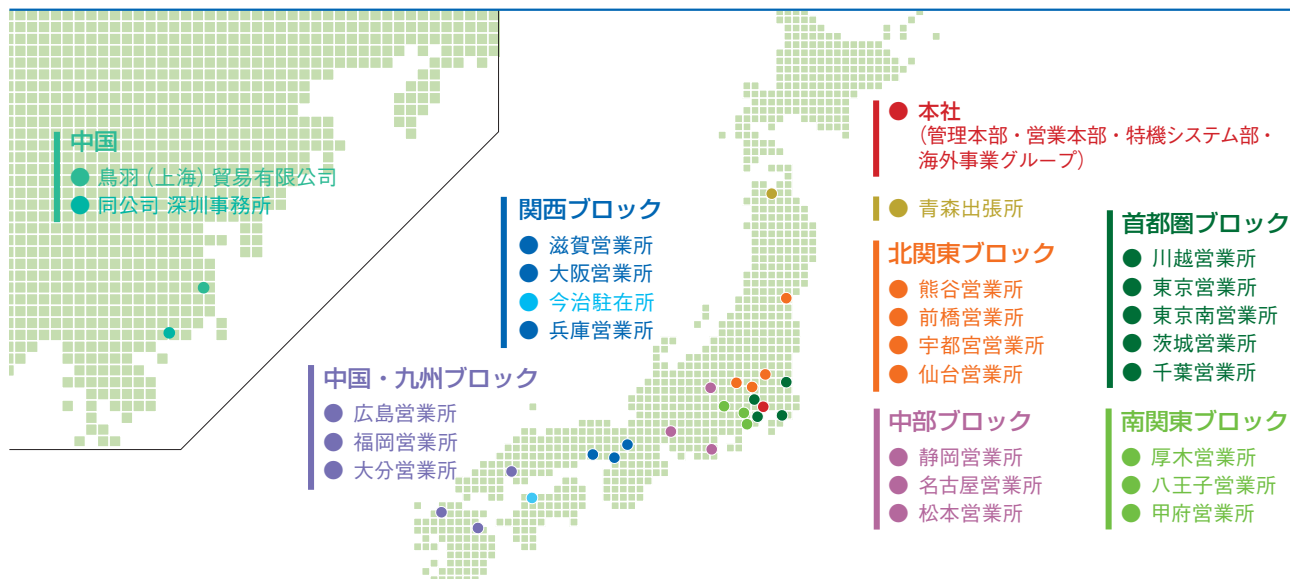
会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日(創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。
従業員数	196名(男性：141名 女性：55名)(平成24年3月31日現在)

役員 (平成24年6月15日現在)

代表取締役社長	三浦直行
常務取締役	藤原茂夫
取締役	遠藤稔
取締役	鳥羽重良
取締役	松永健一
取締役	尾関真一郎
常勤監査役	大島伸雄
監査役	上田正
監査役	池田圭介
監査役	金森浩之

営業ネットワーク (平成24年4月1日現在)



株 式 情 報

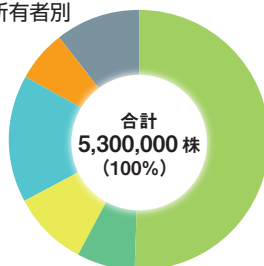
(平成24年3月31日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,300,000 株
株主数	1,874 名

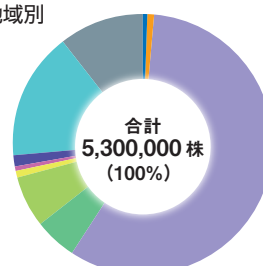
株式数分布状況

所有者別



- 個人・その他
2,681,852株 (50.6%)
- 金融機関
380,500株 (7.2%)
- その他国内法人
505,000株 (9.5%)
- 外国人
838,200株 (15.8%)
- 証券会社
344,272株 (6.5%)
- 自己株式
550,176株 (10.4%)

地域別



- 北海道
4,400株 (0.1%)
- 東北地方
16,300株 (0.3%)
- 関東地方
3,202,983株 (60.4%)
- 中部地方
273,902株 (5.2%)
- 近畿地方
343,873株 (6.5%)
- 中国地方
18,522株 (0.3%)
- 四国地方
11,610株 (0.2%)
- 九州・沖縄地方
36,834株 (0.7%)
- 国外
841,400株 (15.9%)
- 自己株式
550,176株 (10.4%)

I R 情 報

平成24年1月28日
「個人投資家
向け説明会」
を実施



平成24年2月28日
「株主優待
フェスタ」
に参加



※主催：大和インベスター・リレーションズ株式会社

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待制度のお知らせ

制度の内容は、下記のとおりであります。

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
	オリジナル・クオカード 3,000円相当	オリジナル・クオカード 1,000円相当
		

GREENSHOES CARD

このカードは、日常生活から排出される二酸化炭素など温室効果ガスおよそ6kg分^{*}の削減に協力する《カーボンオフセット機能付きブリバイドカード》です。このカードを手にしたあなたも、日常生活のなかで地球温暖化防止への取り組みに参加しています。

※排出権取得の実勢レートより (2008年8月現在)

住所変更、単元未満株式の
買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



株式
会社 鳥羽洋行

〒112-0005東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎ (03) 3944-4031
<http://www.toba.co.jp/>